

平成24年度 小学校教職員を対象とする環境教育研修会 実施報告

「やってみよう！環境学習プログラム」第2回「葉っぱ合わせ」（テーマ：自然）

□実施日時 平成24年8月3日（金） 9時45分～16時15分

□受講者数 21名

□実施場所 東京都庁第2本庁舎 10階209会議室

□実施内容

【午前】

1. 事務連絡・開講挨拶等

- ・ 事務局（研究所）から受講上の注意、全体スケジュール等の説明
- ・ 環境局環境政策課（企画調整係 鈴木主任）より開講挨拶等
- ・ 研修受講者から一人ずつ簡単な自己紹介

2. ゲストティーチャー（都庁職員）からの講義及び実習

（担当：環境局自然環境部緑環境課 島しょ自然環境担当係長 石川郁夫氏）

「小笠原諸島世界自然遺産登録について」と題し、以下の内容について講義を行い、その後質疑応答を行った。

- ・ 小笠原諸島の概要
- ・ 小笠原諸島における自然環境の特徴
- ・ 世界遺産とは
- ・ 小笠原諸島の世界自然遺産登録に向けた体制の整備やスケジュール
- ・ 希少生物保護、外来種侵入拡散防止のための東京都の取り組み
- ・ 小笠原諸島の世界自然遺産登録について、及び今後の課題等

【午後】

3. 環境学習プログラム「葉っぱ合わせ」の紹介及び実習

（担当：特定非営利活動法人 環境学習研究会 谷村春樹理事長）

(1) 「環境学習の意義」について

「子供は実際に物事を体験する中で理解し、気付くことが多い。しかし、現代は、子供たちが遊びや地域との関わりの中で、様々なことを体験的に学ぶ機会が少なくなってきた。このため、学校教育の場で、体験に基づき子どもの感性を伸ばすことについても、昔と比べ格段に重要性が増してきている。環境学習もその一環であり、『自然は、人間やすべての生き物のいのちの源である』ということ、実際の体験と気づきを通じて、子供の心の中に落とし込むことが大切である」こと等の説明があった。

(2) 「葉っぱ合わせ」模擬授業

- ・ あらかじめ2枚ずつ用意しておいた5種類の木の葉っぱについて、班ごとに、どの葉とどの葉が同じ木の葉っぱか、色や形、手触り、厚さ、におい等をよく調べて葉っぱ合わせを行い、班ごとに、なぜ同じ葉っぱだと判断したのか、また気づいた点などを発表した。その後、各人が1枚選んで葉っぱをよく観察し、スケッチした。
- ・ 葉っぱ合わせに使った葉を採取した1斤と2斤の間の通路に移動し、5枚の葉がそれぞれどの木の葉っぱか、探してみた。木が判ったら、葉っぱだけでなく木全体についても観察をした。
- ・ 講師からは、それぞれの木についての説明があった。また、様々な木の名前の由来について調べたり考えたりすることも、関連学習として有意義である旨の話があった。

(3) まとめ（質疑応答及び参加者同士の情報交換）

- ・ 講師より「植物の不思議」という子どもを対象としたスライドの説明があり、子どもたちへ自然や緑の大切さをどのように伝えるかの例示及び解説があった。
- ・ この日の研修を通じて、気づいたこと、感じたこと、授業での取り上げ方や各学校で実施した関連事例等について、参加者が一人ずつ発表し、講師がコメントをして、参加者で情報を共有した。

4. 事務連絡、アンケート記入等（事務局）

※なお、午前の最後にアクション7事業の紹介を行った

【研修の様子】



自己紹介



小笠原諸島の世界自然遺産登録について



環境学習の意義 講義



葉っぱ合わせ 実習①



葉の観察及びスケッチ



葉っぱさがし実習の準備



葉っぱさがし実習の様子①



葉っぱさがし実習の様子②



葉っぱさがし実習の様子③



葉っぱさがし実習の様子④